



移情閣(孫文記念館)友の会 黄耀庭会長就任 山田敬三副会長再任  
財団法人孫中山記念会 中部正博事務局次長着任

去る4月25日、2010年度移情閣(孫文記念館)友の会総会が開かれました。総会に先立ち、昨年の十一月に亡くなられた林同春前会長を悼み黙祷がありました。総会では、(財)孫中山記念会の黄耀庭副理事長が会長に選出され、続いて山田敬三副会長はじめ本年度の役員並びに事務局の体制が決まりました。詳細は本紙3頁に掲載しています。

財団法人孫中山記念会では、4月1日、中部正博事務局次長が着任されました。ご挨拶を本紙2頁に載せています。



## 黄耀庭会長の挨拶と講演『世界の華僑・華人が尊敬する孫文先生』



### 【挨拶】

先ほど、会長に選出されました黄耀庭です。私と移情閣との付き合いは昭和30年代に始まります。当時、移情閣は神戸中華青年会が所有、管理しておりましたが、建物の痛みがひどく、修復のための寄付集めが青年会の主な仕事になっておりました。子どもを連れて、移情閣へ海水浴にやってきましたころの記憶がよみがえります。もう、50年も前のことです。

周知の通り、移情閣(孫文記念館)は日中友好のシンボルになっております。そして、移情閣(孫文記念館)友の会は、移情閣(孫文記念館)を支える大きな力の一つです。その友の会の会長として、私に何ができるかと考えるのですが、あまり若くはないので体を使うことは無理ですが、口を使うこと、つまり、移情閣(孫文記念館)及び友の会のPRをすることでお手伝いができるのではと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### 【講演要旨】

2007年の9月、神戸で開催されました第9回世界華商大会は、みなさまの記憶に新しいところであります。幸せなことに私は、日本中華総商会会長、組織委員会主席として、大会の開催、運営に当たることができました。この大会の神戸誘致にまつわる話を披露させていただきます。

当時の神戸市長、笹山幸俊氏から、世界華商大会の神戸誘致の話

があったのは1995年の秋のことでした。「震災時に世界の華商のみなさまからいただいた多大な支援へのお礼が言いたい。力強く復興が進む神戸を見ていただきたい」というのが市長の真意でした。

「世界華商大会」といいますのは、華僑・華人が、2年に一回、一堂に会する世界的規模の大会です。1991年にシンガポールで初めて開催されて以来、これまで、香港、バンコク、バンクーバー、メルボルンなど華僑・華人が多く活躍する都市で開かれてきました。

笹山市長の要望に賛同した私たちは、日本の華商を代表し(黄耀庭氏は日本中華総商会の副会長、会長を歴任された)、シンガポール、香港、タイなど、主だった中華総商会を訪問し、世界華商大会の神戸開催を働きかけました。

ところで、世界でも、国内でも、「なぜ神戸なのか」という質問を度々受けました。そのとき、「震災復興」というだけでは相手を納得させることは難しかったと思います。そのようなとき私は、神戸が「孫文ゆかりの地」であること、神戸の華僑、政財界人が変わらず孫文を支援したことを繰り返し説明してきました。甲斐あって神戸開催が実現しそうなとき、ソウルが名乗りを上げました。韓国は、大統領親書をはじめ、国を挙げて誘致運動を展開し

ました。

2005年の第8回大会の開催地が決まったのは2003年2月のことでした。毎回、この時期、春節時に次の開催地が決まるのです。世界華商大会の事務局からの連絡は、「次の開催地はソウル。その次は神戸」というものでした。大震災10周年をめざした2005年の神戸開催は成りませんでした。私たちの熱意を買って、前例のない、次の次の開催地まで決めてくれたのです。

2006年4月、第9回世界華商大会組織委員会は北京の釣魚台国賓館で記者会見を行いました。この席でも私は、組織委員会主席として、神戸と孫文の関係を詳しく話しました。神戸大会が実現したのは、正に、孫文のお陰、孫文を支援した先人のお陰であります。

第9回世界華商大会は、2007年の9月15日、中国の賈慶林全国政治協商会議主席を迎え、神戸のワールド記念ホールで開会しました。大会は、神戸と大阪の会場で、15日からの3日間、世界から3700名の華商が集い盛大に行われました。また、参加者は、町を挙げての温かい歓迎と、海と山のある神戸の美しい景色に満足して戻って行かれました。

大会の様子は、中国中央テレビ、香港、台湾のテレビなど多くのメディアに乗って、世界中に発信されました。

最近、中国からの旅行者が増えておりますが、中国の旅行社には、機会あるごとに、神戸をコースに入れてくれるよう頼んでおります。来年、2011年は辛亥革命百周年で、神戸、並びに孫文記念館をPRするチャンスです。

「孫文記念館ここにあり！」  
みなさん一緒にがんばっていきましょう。(文責:編集委員)



ボランティア二題  
山田敬三（孫中山記念会参与・友の会副会長）

(1) 日本語ボランティア教師  
養成講座

現在、兵庫県下に10万人の外国人が定住しています。神戸市内では4万人。後者の半数は中国からの人々です。日本語は片言程度で職業にはつけない人も少なくありません。そうした人たちを対象にたくさんのボランティアが無報酬で活躍しています。『広辞苑』ではそうしたボランティアのことを「志願者。奉仕者。自ら進んで社会事業などに無償で参加する人。」と定義しています。15年前の阪神淡路大震災以来、日本社会に定着した言葉です。目下、友の会では日本語ボランティア教師養成講座を秋頃からスタートさせたいと考えています。確定次第お知らせします。

(2) 孫文記念館文庫  
ライブラリアン

記念館の前にある地下駐車場の片隅に二万冊近い図書が収納されました。(財)孫中山記念会の貝原理事長のご尽力で実現した「孫文記念館文庫」です。孫文関係の文献と華僑華人関係、日中交流史を中心とした中国文化の宝庫です。現在、数名のライブラリアンがボランティアとして蔵書を分類しながらデータベース化して下さっています。外部からの要望に応じて公開する予定ですが、それには相当な人力が必要とされます。この文庫を更に開かれた文化の殿堂にできないかどうか。すべてはボランティア次第だと考えています。



2010年度総会を終えて

企画運営委員長 佐瀬祥一

本年度の総会では、昨年11月にお亡くなりになった林同春前会長の後任として新会長に孫中山記念会副理事長の黄耀庭氏が選出され、副会長(山田敬三)、企画運営委員長(佐瀬祥一)、企画運営副委員長(島田楊子)が再任されました。また、事務局機能充実のため事務局を孫文記念館勤務で友の会の会員である姜智蓮さん、田中美千恵さん、武市嘉晴さん、林国賢さんの4人をお願いし、記念館業務の傍ら友の会の受付等の業務を支援していただくことになりました。

新会長は講演の中で“「神戸は孫文ゆかりの地」である。そしてここ舞子にある孫文記念館(移情閣)は日中文化交流のシンボルであり、神戸市民と華僑の誇りとして世界にPRすることがとても大事である”と強調されました。

昨年は25周年記念を盛大に行うことが出来ました。今年には新会長の下、日中文化交流を象徴する素晴らしいハード(移情閣)とソフト(孫文を顕彰する展示物等)を有し、風光明媚な舞子公園に位置する孫文記念館の活動を地域市民の立場から支え、草の根の文化交流を目的として結成された友の会を、初心に戻って活動すべく、会員の皆様の力を一段と集結し、孫文記念館とともに友の会の各種イベント等PRを積極的に行い孫文記念館の知名度を上げ、会員数の増加につなげ活動の輪を広げて行きたいと思っております。



ご挨拶

(財)孫中山記念会  
事務局次長 中部正博

今年は4月に入ってもまだ肌寒い日が続いていましたが、やっと春らしくなって参りました。

私は、これまで兵庫県職員として約40年間、主に健康・福祉関係の仕事に携わって来ましたが、このたび定年退職を迎え、この4月1日から新たに孫文記念館で勤務をさせて頂くことになりました。

現在は鈴蘭台に住んでいますが、須磨で生まれ須磨で育った私にとってこの舞子公園は子供の頃よく遠足などで訪れ、松林の中で弁当を食べ遊び回ったことや、舞子ピラで結婚式を挙げたことなど大変思い出深い所であり、明石海峡大橋を間近に望めるこのような美しく恵まれた環境の中にある孫文記念館で勤務できることは大変幸せなことだと思っています。

来年度は辛亥革命100周年という節目の年にあたり、様々な事業等も予定されていますが、肝心の孫文記念館の業務に関する私の知識は現在のところ殆どなく、当分の間は職員の方々や関係者の皆様方にご迷惑をおかけすることが多いかと思っております。

今後はできるだけ早く業務にも慣れ、孫文記念館の運営等に役立ちたいと考えていますので、そのためにも当記念館の運営等に多大なご協力ご支援をいただいております友の会の皆様方との連携を深め、更なるご支援を賜りながら勤めて参りたいと考えていますのでどうぞよろしくお祈りいたします。



歓迎会にて  
左から2人目

< 2010年度文化教養講座のお知らせ(場所:孫文記念館 講義室) >

本年度の公開講座は5月16日と6月20日に行います。何方でも聴講できます(聴講料:1,000円/1回)

- ・第1回公開講座 5月16日(日) 14:30~16:30  
演題: 『芸術(音楽)をとおしての国際交流と私』  
講師: 張文乃氏(芸術家、移情閣コーラス指導者)
- ・第2回公開講座 6月20日(日) 14:30~16:30  
演題: 『「東アジア共同体」構想と孫文の世界経済観』  
講師: 中村哲夫氏(華東師範大学歴史系客座教授)

2010年度 移情閣(孫文記念館)友の会総会 議決事項

会員総数 230名  
出席者 39名  
委任状出席 122名

2010年度役員及び事務局員

(会長)	黄 耀庭	(副会長)	山田敬三
(企画運営委員長)	佐瀬祥一	(企画運営副委員長)	島田楊子
(企画運営委員)	市位劫子 賀来せつ珠 鉢方彰 小谷せつ子 須藤佳子 橋雄三 田中哲也 田所久子 丹下真弓 三原恒美 安田恵美子 大和齊 米田実		
(監事)	楠木敏子 村田寛志		
(会計)	喜多村クニ子		
(事務局)	田中美千恵 姜智蓮 武市嘉晴 林国賢		

2009年度事業報告

行事内容	日時	備考
1. 第24回友の会総会及び講演会 演題『移情閣と私』 講師 孫中山記念会理事長 貝原俊民氏	4月26日	移情閣 約50名
2. 公開講座 ・5月17日『旧儒学と新儒学』 ・6月21日 『新儒学の核心と周辺』 講師 中村哲夫氏	5/17 6/21	講義室 各15名
3. 孫文蓮を楽しむ会 ・中国系の花々を楽しむ会 ・孫文蓮まつり 蓮茶、蓮の実を楽しむ会 ・園芸講演会と親月コンサート ・香り花の鑑賞会	8/4~9/30 8月8日 9月5日	移情閣庭園 1万5千名 約200名 約300名
4. 「孫文2009」 ・友の会25周年記念行事 「玉岡かおる講演会と中国音楽・ 越劇を楽しむ会」 ・孫文研究会秋季例会 「太平洋を越えるひとと『国家』」 ・ミニ講演会「孫文記念館を創った 人々」	11/1~11/29 11月14日 11月21日 11月28日	移情閣、舞子ピラ 舞子ピラ 約350名 KKCt M10F 移情閣約15名
5. 新春のつどい	1月24日	舞子ピラ約40名

講座関係	中国語講座 (第27期)	2009年4月~2010年3月
------	--------------	-----------------

その他	1. 企画運営委員会を毎月第2土曜日 2. 「移情閣だより」を年3回発行 3. 中国語講座講師交流会年1回 (新春のつどい) 4. 中国語サロンを毎月2回 (第2・第4金曜日)
-----	---

2009年度収支決算

収入の部			支出の部		
項目	予算	実績	項目	予算	実績
管理・運営収入	654,000	581,629	管理・運営支出	1,024,000	844,887
会費収入	300,000	290,000	通信費	200,000	213,988
助成金(記念会)	250,000	250,000	消耗品費	150,000	141,939
会議費(総会)	100,000	93,000	印刷広報費	500,000	309,514
寄付金	4,000	4,000	会議費	124,000	137,500
雑収入		4,629	雑費	30,000	30,845
			立替金		0
事業収入	2,940,000	4,094,891	事業支出	3,430,000	4,770,708
中国語講座	2,401,000	2,185,751	中国語講座	2,200,000	2,250,251
新春のつどい	210,000	145,000	新春のつどい	244,000	181,600
公開教養講座	50,000	28,000	公開教養講座	30,000	34,900
地域文化支援事業	0	1,000,000	地域文化支援事業	0	1,042,792
・ 移情閣まつり	5,000	11,250	・ 移情閣まつり	20,000	5,610
・ 月見の会	20,000	16,100	・ 月見の会	50,000	4,147
		*(1027500)			*(1053549)
25周年記念行事	250,000	1,308,789	25周年記念行事	350,000	1,241,938
			留学生交流会	10,000	0
当期収入合計	3,504,000	5,276,510	支出合計	4,034,000	5,615,295
前年度繰越金	1,127,836	1,127,836	繰高(前年度繰越金)	687,836	759,242
					29,718
総合計	4,721,836	6,404,346	総合計	4,721,836	6,404,355

監査の結果、上記の通り明瞭ありません。 2010年4月13日  
田中哲也 田所フ子

2010年度事業計画

行事内容	日時	備考
1. 友の会総会及び講演会	4月25日	移情閣
2. 公開講座 第1回『芸術(音楽)をととしての国 際交流と私』張文乃氏 第2回『「東アジア共同体」構想と 孫文の世界経済観』中村哲夫氏	5月16日 6月20日	講義室 講義室
3. 移情閣まつり・月見の会	9月25日	移情閣・舞子公園
4. 新春のつどい	1月30日	舞子ピラ
5. 記念館、孫文研究会との共催 ・孫文まつり ・孫文2010 ・ミニ講演会・ミニ演奏会	8月 11月 検討中	移情閣 検討中 検討中

講座関係	中国語講座 (第28期)	2010年4月~2011年3月
------	--------------	-----------------

その他	1. 企画運営委員会を毎月第2土曜日 2. 「移情閣だより」を年3回発行 3. 中国語講座講師交流会年1回 (新春のつどい) 4. 中国語サロン毎月2回 (第2・第4金曜日)
-----	--

2010年度予算

収入の部		支出の部	
項目	予算案	項目	予算案
管理・運営収入		管理・運営支出	
会費収入	230,000	通信費	150,000
会費収入(前受け金)	0	消耗品費	50,000
雑収入	0	印刷広報費	305,000
寄付金	0	会議費	150,000
印刷広報費	0	雑費	30,000
会議費(総会)	90,000	備品費	0
助成金(記念会)	250,000	合計	685,000
預金利息等	0		
合計	570,000		
事業収入		事業支出	
中国語講座	1,690,000	中国語講座	1,512,000
公開教養講座	28,000	公開教養講座	33,000
移情閣まつり	10,000	移情閣まつり	25,000
月見の会	15,000	月見の会	80,000
募金	0	新春のつどい	220,000
新春のつどい	175,000	同好会発表会活動	0
合計	1,918,000	募金(地域文化支援基金等)	
		留学生交流会	
		合同特別講演会	
		予備費	100,000
		合計	1,970,000
当期収入合計	2,488,000	当期支出合計	2,655,000
前年度繰り越し金	759,252	前年度繰越金	621,970
前受金会費	29,718	繰高(前年度繰越金)	621,970
		繰高(前年度会費その他)	
収入総合計	3,276,970	支出総合計	3,276,970

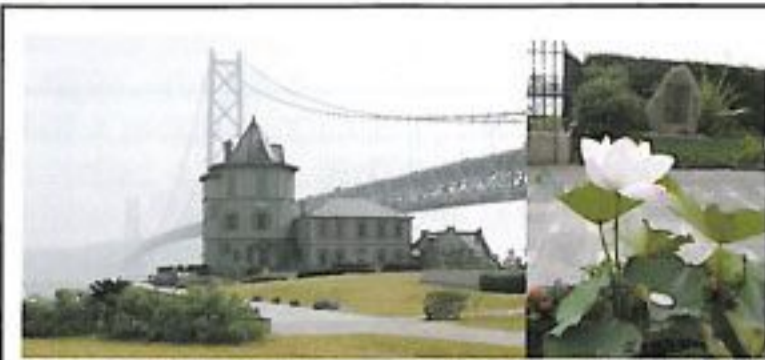
## 移情閣(孫文記念館)友の会

移情閣(孫文記念館)友の会 事務局

電話:078-783-7172

〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町2051

FAX:078-785-3440



移情閣(孫文記念館)は、日中文化交流のシンボルとして、広く一般に開放されています。移情閣という由緒ある建物を拠点とし、友の会は各種の文化交流活動を展開しています。

会員となられた方には、友の会更には孫文記念館のさまざまな行事への参加や、友の会の機関紙「移情閣だより」の配布等いろいろな特典があります。また会員が主体となった文化活動をなさるときには、大学その他の関係者の協力・支援を受けることも可能です。

年会費(4月～翌年3月)および入会方法

年会費は千円です。入会申込書にご記入の上、事務局にご持参いただくか、または、郵便振替「移情閣(孫文記念館)友の会の口座番号01190-7-43126」をご利用ください。

## &lt;&lt;友の会の活動&gt;&gt;

- |           |                                       |                 |
|-----------|---------------------------------------|-----------------|
| 1. 公開講座活動 | ・中国語講座(1年コース)                         | ・文化教養講座(年に1~2回) |
| 2. 会員親睦活動 | ・舞子移情閣まつり                             | ・月見の会           |
| 3. 同好会活動  | (会員以外の方が同好会活動に参加ご希望の場合は、友の会への入会が必要です) | ・新春のつどい         |

## 同好会の紹介

## 移情閣囲碁同好会

- \*例会日 毎月第2・第4日曜日  
13:00~16:30
- \*会場 孫文記念館友の会の部屋
- \*会費 6ヶ月 3,000円
- \*代表者 島田英樹



## 移情閣コーラス同好会

- \*日時: 毎月第1・第3日曜日(原則)  
10:00~12:00
- \*会場 第1月曜 移情閣  
第2月曜 菅谷公園内他
- \*会費 1回 1,000円
- \*講師 張文乃先生
- \*代表 河合純子



## 移情閣写真同好会

- \*毎月第1日曜日13:00~
- \*会場 孫文記念館友の会の部屋
- \*会費 6ヶ月3,000円
- \*指導 鎌方彰、徳田祥一
- \*代表 徳田祥一



## 移情閣太極拳同好会

- \*日時 毎月第1・第3日曜日  
13:30~15:00
- \*場所 移情閣庭園
- \*会費 毎月3,000円  
(会員が増えれば見直します)
- \*指導 森本千代子先生
- \*代表 佐瀬祥一



(神戸太極拳協会の皆さんの演武)

## 移情閣中国文化同好会

- \*例会 毎月第3日曜日  
14:30~16:30(17:00より懇親会)
- \*場所 孫文記念館 講義室
- \*講師 各分野の専門家・有識者
- \*年会費 1,500円
- \*例会参加費 1,000円
- \*代表 佐瀬祥一
- \*幹事 菅田壽宏



## 移情閣二胡同好会

- \*毎月第1・第3日曜日  
14:00~
- \*場所 移情閣3F(第1日曜日)  
シーマクス舞子公園集会所(第3日曜日)
- \*会費 入会金1,000円、月額2,000円  
(偶数月に2ヶ月分ずつ徴収)
- \*講師 鳴尾牧子先生
- \*代表者 市位 劫子



## 移情閣中国語サロン

毎月第2・第4日曜日14:30~16:00

孫文記念館友の会の部屋で林美智子先生を囲んで寛いだ雰囲気様々な話題を中国語で話しています。コーヒーとお茶の時間もあります。参加費は1回500円です。本年度は新しい試みとして中国語を話せる外国人の参加を働きかけたり、中国茶や中国料理等の食文化を楽しむ会や、皆さんが集まり易い曜日に開催してより楽しい会にしたいと思ひます。



発行 移情閣(孫文記念館)友の会  
連絡先 神戸市垂水区東舞子町2051

電話:078-783-7172  
FAX:078-785-3440

編集  
「移情閣だより」編集委員

友の会ホームページURL: <http://ijokaku-tomonokai.com/>